

第1学年 道徳科学習指導案（略案）

日 時：令和元年10月17日（木）5校時

児 童：1年 4名

指導者：〇〇 〇〇

1 主題名 わがままな行い【A-（3）節度、節制】

2 資料名 『かぼちゃのつる』東京書籍「新しいどうとく①」

3 主題設定の理由

（1）ねらいとする道徳的価値について(授業者の価値観)

本主題は、内容項目「A 主として自分自身に関すること」の「（3）節度、節制」を扱うものである。1年生は、まだ、物事を自己中心的に考え、その時の感情で行動してしまうことがある。そのことによって、周りにいる人が嫌な気持ちになったり、迷惑だと感じたりすることもある。資料「かぼちゃのつる」を通して、自分がしていることについて、わがままなことなのかどうかを考えて行動できる児童を育てていきたい。

（2）児童の実態(児童観)～省略

（3）教材について(教材観)

本資料は、かぼちゃが自分勝手に蔓を伸ばす様子とそれによって周りの動物たちに迷惑がかかっていることを挿絵ごとに丁寧に確認していく中で、かぼちゃのわがままを感じ取らせ、その結果、自分にもよくないことが起こったりすることを理解させたい。

4 本時案

時 間	学習活動 (◎中心発問、○発問、・児童の反応、☆教師の働きかけ)	指導上の留意点 (□評価、◆留意点)
導 入	☆内容項目の提示 ○「わがままだとどうなる？」 ・他の人が困る ・嫌な気持ちになる	◆児童の考えをできるだけそのまま、発表できるよう発問のしかたに気を付ける。
展 開 前 半	☆題材名を提示 ☆資料の絵を見て、それぞれの場面ごとに教材を読む。 ○つるをのばすかぼちゃは、どんな気持ちかな？ ・どんどん大きくなるぞ。 ○みんなに注意されたかぼちゃは、どう思ったかな？ ・うるさいな。 ・もっと伸びたいんだ。 ◎つるを切られたかぼちゃは、どう思ったかな？ ・みんなの話を聞いておけば良かった。	◆場面で区切って読むことで、かぼちゃのしていることが周りの生き物達の迷惑になっていることを丁寧に確認していく。 ◆わがままを続けたことで自分にも良くないことが起こったことを確かめる。

展 開 後 半	☆かぼちゃの気持ちを確認した後、自分は普段の生活の中で、わがままなことをしてしまった時の様子を発表させる。 ○今までわがままなことをしてしまったことはありますか。 ・自分がわがままだったときの様子を話す。	◆なぜ、わがままになってしまったのかの理由を聞き、その気持ちも理解できるようにして、共感的に発表を聞く。その上で、どうしたらよかったかをさらに聞く。(問い返し)
ま と め	○今日の学習で考えたことや、今後の生活に生かしていきたいことを書きましょう。 ワークシート記入。	□学習をふり返り、今後の生活に生かそうとしているか。

5 ワークシートの記録

- ・これからも絶対にわがまを言わない。
- ・わがまを言わないようにする。
- ・わがまを言ったら、周りの人が困るから、わがまを言わないようにする。
- ・前はわがまだったから、これからは、わがまを言わないようにがんばる。